

# 楽しみな英語活動

## 名和小学校

コートニー先生のご両親が来日されて、一緒に英語を学ぶことができました



「コートニー先生、2年生の教室へ来てください」

職員室で待つておられるコートニー先生を、子どもたちが迎えに来ます。子どもたちは、週1回の英語活動の時間をとても楽しみにしています。

コートニー先生にやさしく「イエス、オーケー」と返事してもらい、教室へ案内する子どもたちは、とてもうれしそうです。

小学校の英語活動は、体験的な活動を通し、子どもたちが外国語に触れたり、外国の生活や文化などに慣れ親しんだりすることを重視して取り入れられています。

名和小学校では、平成15年度の2学期から取り組んでいる

ます。ALT(外国語指導助手)として、この2学期から、コートニー先生に来ていただいています。

子どもたちに、英語活動について聞いてみると

「コートニー先生は、やさしいよ」

「英語のゲームが楽しいよ」

「英語の歌を歌ったり、踊ったりするのも楽しいよ」

「英語の言葉が覚えられるからおもしろいよ」

等々、同様な答えが返ってきた。

子どもたちは、コートニー先生のやさしい人柄、明るい笑顔に触れながら、ゲームや歌などの楽しい活動を通して、外国の言葉を覚えていくことに新鮮さを感じています。

そんな中、11月22日、コートニー先生のご両親がアメリカから来られました。そして、英語活動に参加されました。この日はちょうど1年生と2年生の英語活動の日でした。

1年生も2年生も、コートニー先生のご両親が来られるという

心をひとつにした、全校児童による合奏『さんぽ』



新たな年、平成17年が始まりました。庄内小学校が、一人ひとりの児童のよさを引き出し伸ばしていく『オンラインワン』の教育を推進していることは、すでにご承知のことと思います。

けれども、それぞれの教科や領域を通して学んだことが、単なる知識としてとどまってしまう。真の学力とは言えません。それぞれの学びが、児童の日々の生活に活かされることこそ大切なのです。

『生きてはたらく学び』として様々な活動に取り組んでいる

児童の姿を紹介しましょう。

11月に実施しました「学習発表会」は、日ごろの学習成果を総合的に発表し、豊かな表現力を育てるよい機会となりました。

各学年とも、創意工夫した演技を、心をひとつにして力いっぱい発表しました。それぞれの学級が、そして学校がひとつになったと実感できた1日でした。

体育館を埋め尽くす大勢の観客の前で、堂々と発表し演技する児童の姿に感動され、お越しいただいた保護者や来賓の方々から、多くの称賛の言葉をいただきました。

学習発表会以上に、児童自らが主体的に計画し推進する取り組みとして、「児童集会」や「児童大集会」があります。

12月の「児童大集会」は、運営委員会が中心となって企画し運営したものです。この大集会『文字集めオリエンテーリング』は、児童の思考力や判断力をフルに活用したものとなりました。学校生活に潤いを与え、仲間意識を深めて、全校児童が楽しむことができました。

うので、普段より緊張していました。すぐに普段のなごやかな雰囲気に戻りました。

この時間は、体の部分の名前を言い合う活動でした。

アイ(目)、ノウズ(鼻)、ヘッド(頭)、ハンド(手)など、ゲームをしながら、何度も何度も繰り返して対話するうちに、子どもたちは、すべての言葉をすっかり覚えてしまいました。

一番楽しかったのは、サルの絵を使ってお福笑いです。コートニー先生のご両親も加わり、楽しいひとときを過ごすことができました。



子どもたちは、週1回のコートニー先生との英語活動の授業を、とても楽しみにしています。

子どもたちが単語の発音や意味を、楽しい時間を通してあつという間に覚えてしまうのは、本当に驚かされます。子どもたちの大好きな英語活動。3学期はどんな学習が展開されるのか、とても楽しみです。

# 名和つ子

学校から

また、本校の取り組みとして忘れてはならないのが、6年生の人権・同和教育学習「人を人として大切に学習」です。

自分自身の心の変容を感したようです。そして、第4回目の公開学習「保護者とともに思いを語り合おう」では、『生きてはたらく学び』を実践し、大きく成長した18人の姿に、強い感動を覚えました。



異年齢の縦割り班チームで、文字集めオリエンテーリングにチャレンジ！



『人を人として大切に学習』を通して学んだことを、堂々と発表する子どもたち